



住みやすい町を目指して... ④8

テレビ難聴地域を克服して

神山テレビ視聴施設組合長 すすき まさのり 鈴木 眞徳さん(神山在住)

神山テレビ視聴施設組合設立

神山自治会および茶屋自治会の東名高速道路東側に頭高山があり、東京からのテレビ電波が届きにくいので、各家庭のアンテナも相当高く立てたり、西側の小田原方面からのUHF電波で視聴する家がありました。しかし、西は高架の東名高速道路の拡幅工事でUHF電波も遮られることになり、完全に難視聴地域となりました。

そこで、NHKと連携して神山神社裏にある山の中腹に受信アンテナ基地を設置して、そこから電柱に共架と組合柱に同軸ケーブルを載せる計画で、昭和45年に神山テレビ視聴施設組合を結成し、NHK共同受信設備が完成しました。当時の組合員約200人、役員は組合長、副組合長2名、会計2名、監事2名、理事14名の合計22名でした。組合費はテレビ台数により異なり、理事が自分の班の組合員1家庭あたり、年間2,500円から5,000円を収集しました。共同受信設備が完成してから平成25年までには、様々な故障がありました。台風などの自然災害時には、単独柱が倒れたり、樹木の倒壊や落雷で視聴ができなくなることがほとんどでした。その都度組合員に迷惑をかけていました。

光設備への切り替え

そんな時、NHKから全国の優先既存設備の同軸ケーブルを光ケーブルに切り替える話があり、平成25年に説明を受けました。当組合設備は40年以上を経過し、いつ使えなくなるかわからない老朽設備になっていたのです。それから2年間の検討の末、光設備に切り替えることにしました。その検討内容は困難を極めました。まず、工事費です。今まで有事の改修費として蓄えた高額な特別基金積立額のほとんどを使い果たしてしまうことです。

しかし、光に変えることで故障がなくなることと、既存設備の撤去及び屋内設備以外の財産管理保守はNHK負担となることで今後の保守費が激減することが分かりました。続いて検討したのは今後の特別基金の積立が継続できるかということでした。保守費が下がることで組合費を大幅に下げること、さらに集金作業の理事14名制度をなくして役員手当を減らすこと、更なる費用削減策を見つけて、光ケーブルへの切り替え工事を総会で提案し決定しました。平成28年の工事後は、ほとんど故障もなく、快適にテレビを視聴できています。現在組合費がテレビ保有数にかかわらず1軒あたり年間2,000円だけの地デジ放送ですが、今後は、BS・CS放送の視聴拡大についても話題になると思います。最後に役員の皆様には少ない人数の中でのご努力に感謝申し上げます。

町議会広報広聴常任委員会では、
「住みやすい町を目指して」
活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。
希望される方は下記までご連絡ください。

第1回定例会は3月2日(水)開会
**新型コロナウイルス対策のため傍聴は10席となっております。発熱等症状が
おありの方は、ご遠慮ください。**

議会広報広聴常任委員会
委員長 寺嶋 正
副委員長 内田 晃
委員 田代 実
委員 中野 博
委員 飯田 一
委員 齋藤 永

(内田)

寒さが一段と厳しい季節となりました。新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染者が全国的に増え、神奈川県もまん延防止等重点措置が適用されました。
一日も早く終息し安心な生活を願うばかりです。しかしその中でも唯一明るいお知らせがあります。松田小学校が遂に完成し、2月より新校舎での授業が開始されます。議会としても未来を担う子どもたちと皆様の暮らしを守るため、今後も真剣に取り組んでまいります。

